

刀 無銘 長義

株式会社ニトロプラス 蔵

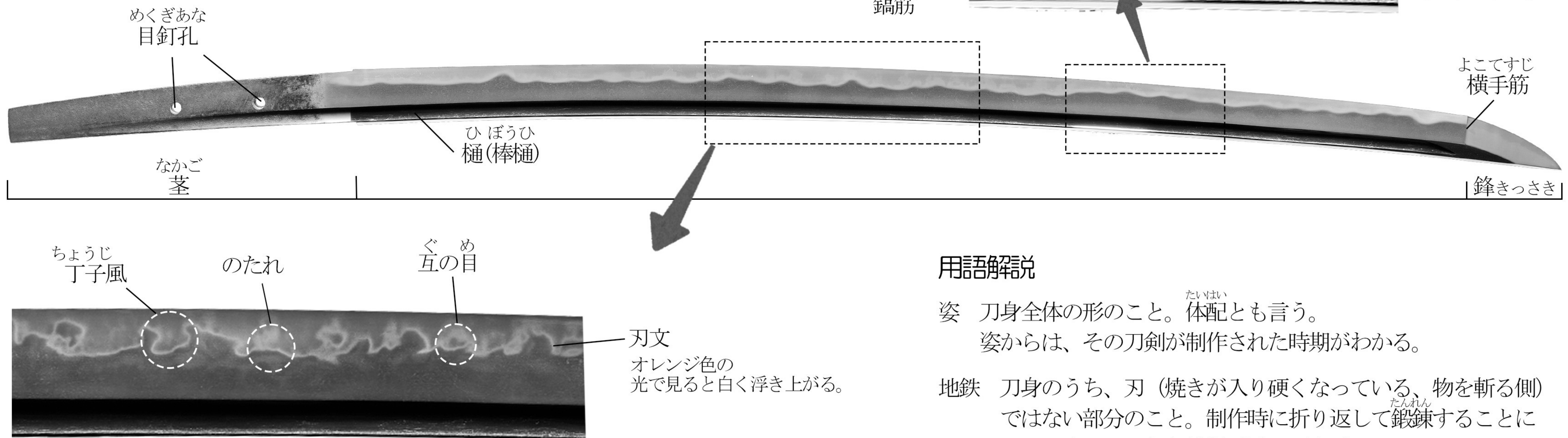
展示期間2026年7/7(火)～7/20(日)

見どころ

すがた みはば おおきっさき
姿 身幅が広く大鋒に結ぶ南北朝時代の特徴を表した姿。

じがね いため もく みだれうつ
地鉄 板目に杻交じり、乱映りが立つ。

はもん おおぐ め ちょうじ
刃文 大互の目に丁子風や小のたれなどを交えて大模様で高低の変化がある。



用語解説

姿 刀身全体の形のこと。体配とも言う。
姿からは、その刀剣が制作された時期がわかる。

地鉄 刀身のうち、刃（焼きが入り硬くなっている、物を斬る側）ではない部分のこと。制作時に折り返して鍛錬することによって木目のような模様が浮かび上がっている。

刃文 刃と地鉄の間に白く浮かび上がる模様のこと。押形(刀の姿とおしがた)では黒い墨で表される。

